

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成24年度～平成28年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（しまんとがわ） 四万十川森林計画区 （高知県）	事業実施主体	四国森林管理局 四万十森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>当事業は、高知県西部に位置する四万十川森林計画区の国有林野51,628haを対象としている。</p> <p>当計画区は、北部は四万十川の源流部、南部は足摺岬までの高知県西部に位置している。年平均気温は16℃、年平均降水量は2,807mmと温暖多雨で林木の育成に適した気候下でヒノキを主体とした植林が行われており、人工林率は65%となっている。</p> <p>当計画区内の国有林野は、四万十川の中流域から最上流域及び各支流の上流域に位置する団地、足摺・大堂の海岸から松田川上流の篠山に至る四国の西南端地域の団地及びその他の団地に大別できる。これらの団地においては、四万十川の支流である黒尊川源流域の標高1,000m付近に冷温帯を代表するブナ林が見られ、足摺・大堂の海岸林では亜熱帯のアコウ等の植生が見られる。天然林は、不入山、黒尊山、今の山、中土佐町から大堂海岸に至る海岸の国有林にまとまって分布している。これらの天然林は地域を代表する多種多様な林相からなり、自然美の景観としても優れているものも多く、国立公園、保護林、レクリエーションの森等に多数が指定されている。一方、人工林率は84%と高くヒノキが71%を占めており、長伐期化等により間伐が必要な7～12齢級の森林は77%を占めている。</p> <p>また、木材利用の促進と適正な森林整備を図ることを目的として、優良材として高評価を受けてきた「幡多ヒノキ」を四万十市、四万十町、中土佐町、三原村の4市町村において「四万十ヒノキ」としてのブランド化に向けた協定が平成23年2月に締結され、国有林においても、木材の安定的な供給を通じ地域産業の振興に寄与することが期待されており、国土の保全、水源の涵養に加え、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等、公益的機能の発揮に対しても期待が高まっているなど森林への要請は多様化している。</p> <p>このことから、本事業においては、これら地域の要請に応えるべく四万十川流域の景観に配慮し、優良材として高評価を受けている「四万十ヒノキ」の安定供給を確保するため、長伐期施業を実施するとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備の推進やこのための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 15%;">森林整備</td> <td style="width: 15%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">610 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>9,585 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>13.9 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>52.0 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td colspan="3">6,700,742 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	610 ha			保育面積	9,585 ha		路網整備	開設延長	13.9 km			改良延長	52.0 km	総事業費	6,700,742 千円		
主な事業内容	森林整備	更新面積	610 ha																				
		保育面積	9,585 ha																				
	路網整備	開設延長	13.9 km																				
		改良延長	52.0 km																				
総事業費	6,700,742 千円																						
費用対効果分析	総 便 益 (B)	48,241,219 千円																					
	総 費 用 (C)	7,177,502 千円																					
	分析結果 (B/C)	6.72																					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源涵養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分発揮させる有効な事業であると認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

別紙様式 7

整理番号 1

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業

事業実施主体：四国森林管理局

事業実施地区名：四万十川 森林計画区（しまんとがわ）

四万十森林管理署

（都道府県名：高知県）

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	9,037,702	
	流域貯水便益	4,010,813	
	水質浄化便益	6,829,597	
山地保全便益	土砂流出防止便益	7,232,913	
環境保全便益	炭素固定便益(樹木固定分)	2,407,314	
	炭素固定便益(森林土壌蓄積分)	416,892	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	3,611,261	
	木材利用増進便益	33,879	
	木材生産・確保増進便益	10,655,553	
	木材生産確保・増進便益(森林整備分)	908,729	
	木材生産確保・増進便益(路網整備分)	9,746,824	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	202,249	
	治山経費縮減便益	1,164,143	
	森林管理等経費縮減便益	9,419	
	森林整備促進便益	38,751	
	維持管理縮減便益	2,590,733	
総便益 (B)		48,241,219	
総費用 (C)		7,177,502	
費用便益比 (B/C)		6.72	